



みんなの存在は3億分の1の奇跡 シャボン玉（心の境界線）を大切に

校長 北野 美紀

11月4, 5, 6日の3日間、助産師でいらっしゃる高野しのぶ先生を講師にお招きし、性教育についての学習を実施しました。低学年には体の大事な所について、中学年には第2次成長について、高学年には男女の体の成長とLGBTQについてと、発達段階に合わせた内容を、わかりやすい言葉で、且つ具体的な事象を含めて子ども達に教えていただきました。最初は衝撃を受けているような様子の子もいましたが、途中からは真剣に自分の事として思いを巡らせていました。

全学年共通していたのが、①プライベートゾーンを見たり触ったりしていいのは自分だけということ、②一人一人がかけがえのない命であるということです。「自分を大事にして、いやな事はいやだと言っていいんだよ」と繰り返しお話をしました。その具体的な内容が、バウンダリー（境界線）です。「自分の心を守るために大事にし、他者が勝手に踏み込んではいけない。同時に他者の領域も大事にする」という内容なのですが、『境界線』を子ども達に分かりやすいように『シャボン玉』に例え、「人は皆シャボン玉に囲まれているから、友だちのシャボン玉を割ってはいけない」と子ども達に伝えてくれました。そして、「命はたった1つ。3億分の1の存在」と命の尊さについて語りかけてくださり、「生きているだけで100点満点！」と子ども達の声とともに締めくくりとなりました。なお、令和8年1月25日（日）スタートおおたかの森ホールにて、流山市教育委員会主催による保護者向けの性教育講演会があります。高野しのぶ先生のお話にご興味のある方、是非お申し込みください。

<授業参観・懇談会への多数のご参加ありがとうございました>

学級懇談会の冒頭では、改めて、学校教育目標の「笑顔あふれる学校」について、「みんな違ってみんないい」という自分も大事、友だちも大事にする気持ち、「やってみよう」と楽しんでチャレンジする気持ちを大切にしていきたいこととお話しました。そして、「保護者の皆様には、おおたかの森小学校子ども達全員の、サポーターになっていただけたら、こんなに力強いことはありません。」とお伝えさせていただきました。早速、1年生の公園探検、2年生の町探検では、たくさんの保護者・地域の方がサポーターとしてお力を貸してくださいました。子ども達は、少し緊張しながらもサポーターの皆さんとやりとりし、その後楽しそうに出発していく姿が、なんとも微笑ましかったです。活動の後は、お子さんの教室での様子を、自由に参観いただきました。学校での日常の様子をご覧になっていただけたのではないかと思います。

お忙しい中、本当にありがとうございました。

10周年記念講演会

室井滋さん・長谷川義史さんが
読み聞かせをしてくださいました。
名前に関する、素敵なお話です。

